

北海道高等学校学力向上実践事業 授業実践講座

釧路市

ICT活用講座報告

平成29年10月4日
(主管教育局 釧路教育局)

平成29年10月4日(水)、北海道釧路江南高等学校を会場に北海道高等学校学力向上実践事業の授業実践講座(ICT活用講座)を開催しました。本講座では、研究授業や講演のほか、ICT活用スペシャリストによる実践発表等を行い、当日は、全道から19名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用いただければと存じます。

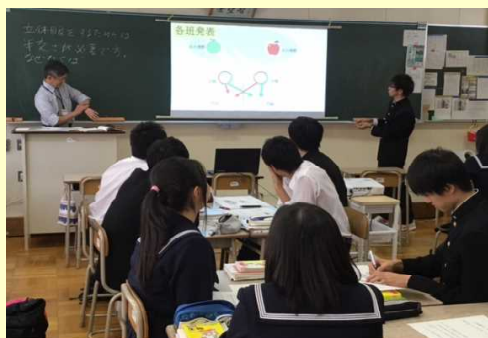
ICT活用講座の概要

テーマ「ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」

本講座の概要

研究授業(10:45~11:35)
合評会(11:40~12:00)

- テーマ
「ICTを活用した授業実践について」
- 授業者
北海道釧路江南高等学校
池田 耕 教諭(生物)
佐々木知哉 教諭(数学I)



講演(12:00~12:40)

- 演題 「高大接続改革とICTの活用」
- 講師 北海道釧路江南高等学校長
中西 勝 範

ワークショップ(13:30~14:40)

- 講師 ICT活用スペシャリスト
北海道浦河高等学校教諭
山藤 祐代(国語)
北海道旭川西高等学校教諭
飯岡 寛治(地歴公民)

協議・説明(14:45~15:25)

- 協議テーマ
「各学校におけるICTの活用状況及び成果と課題について」

本講座の実施により期待される成果

課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)、実践的な「教科指導力」の向上、ICTの活用、各学校における授業改善の視点の拡大、北海道高等学校学力向上実践事業における研究の充実

ICT活用講座の実施状況

研究授業

数学 I の授業では、「相関係数」について、プレゼンテーションソフトを活用した効果的な説明や、生徒のグループ学習による主体的な学習が行われていました。

生物の授業では、ヒトの目の「視交さ」の学習において、スクリーンに投影された図を基に、考察や意見交換が活発に行われていました。



講演

高校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革の状況について、お話しいただきました。講演後の質疑応答も活発に行われ、参加者の関心の高さがうかがえました。



ワークショップ

浦河高校の山藤先生からは、「タブレットを使用することで授業や生徒にどのような変化が生まれたのか」という実践発表がありました。



旭川西高校の飯岡先生からは、各科目のプレゼンテーションソフトの活用方法のほか、「地理総合」で求められるGISを活用した授業実践について、教材の紹介も含めた発表がありました。

協議・説明

グループ単位で各校の取組や課題について、情報交換を行いました。まとめとして、高校教育課相馬主査からプレゼンテーションソフトを活用する方法を実演しながら、ICT活用の意義について説明がありました。



ICT活用講座参加者の声

参加者の声

- 授業見学や講師の先生方の話から、自身の授業に参考にしたい点がいくつもあった。帰ってからすぐに実践してみたい。
- ICTの活用によって、生徒の思考が促進されると感じた。
- 地理の授業でGISを「どう使って、生徒に何をさせるのか」について参考になった。
- 「ICT」「GIS」について、言葉の意味もさっぱり分からない状況だったが、少しずつ取り組んでいこうと感じた。

参加者アンケートの結果（一部）

- Q. ワークショップなどで紹介した教材や指導方法は、あなたの授業において活用できますか。
a. 大いに活用できる 44% b. 活用できる 56%
- Q. 「主体的、対話的で深い学び」の実現や、教材、指導方法の理解は深まりましたか。
a. 大いに深まった 44% b. 深まった 56%
- Q. 今回の実践講座は、あなたの授業実践力の向上に役立ちましたか。
a. 大いに役立つ 53% b. 役立つ 47%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<釧路教育局ウェブページURL>

http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/krk/koukouhan_tusin.htm